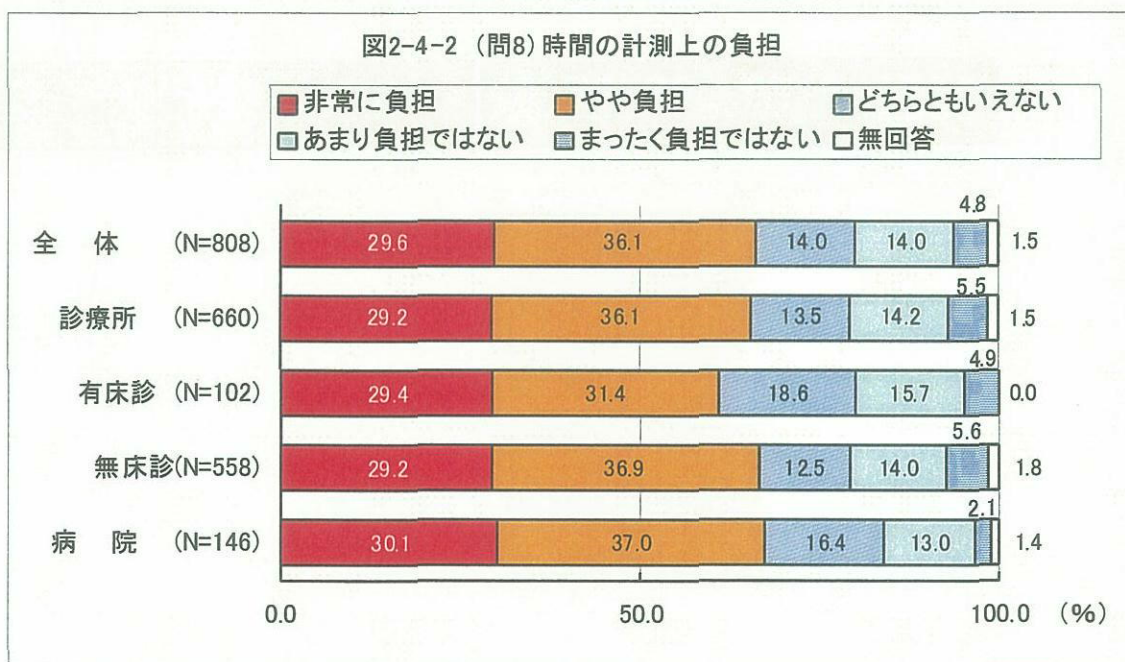


2) 診察上の時間の計測の負担

問7で、「1 時計、ストップウォッチ等で正確に計測している」、「2 時計などを見ながら、おおむね計測している」を選択した医療機関。

時間の計測が、診察上、非常に負担になっていると回答した医療機関は約3割であった。「非常に負担」「やや負担」を合わせると全体で65.7%、診療所では65.3%、病院では67.1%であった。



*全体には、診療所か病院かを回答していない医療機関を含む。

問8. 問7で「計測している」(1または2)を選択された方におうかがいします。時間の計測は、診察上の負担になっていますか？

- 1 非常に負担 2 やや負担 3 どちらともいえない
4 あまり負担ではない 5 まったく負担ではない

また現在、外来管理加算を算定している医療機関全体に対する比率を見ると、時間を計測しており、かつそれが診察上の負担になっている（非常に負担、やや負担）と回答したのは診療所 27.6%、病院 45.6%であった。

表2-4-1 診察上の時間の計測の負担

	診療所		病院		計	
		構成比		構成比		構成比
現在、外来管理加算を算定している	1,562	100.0%	215	100.0%	1,778	100.0%
時間を計測している(正確に計測・おおむね計測)	660	42.3%	146	67.9%	806	45.4%
うち時間の計測が診察上「非常に負担」「やや負担」	431	27.6%	98	45.6%	529	29.8%

*診療所か病院かを回答していない医療機関を除く